

合格証明書
QC PASS

Godox



Wechat
Official Account

GODOX WeChat 公式アカウント

深セン市神牛摄影器材有限公司

所在地: 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟

電話: 0755-29609320(8062) Fax: 0755-25723423

メールアドレス: godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-XP2Z00-02



X-PRO II

TTLワイヤレスフラッシュトリガー

取扱説明書

目次

前書き	02	造形ランプ設定	14
警告	02	ZOOM 値設定	15
部品	03	シャッター同期設定	15
本体	03	ブザー設定	15
LCD 表示画面	04	PC ポート設定	16
電池装入	05	SHOOT 機能設定	16
電池残量表示	05	Bluetooth 設定	17
ワイヤレス同期トリガーセットアップ	05	APP ダウンロード	17
フラッシュ		MENU: カスタムメニュー	18
ワイヤレス同期トリガ屋外フラッシュ	06	互換性のあるフラッシュ型番	22
XT ワイヤレスシステムと X1 ワイヤレスシステムとのチャンネル関係		XT ワイヤレスシステムと X1 ワイヤレスシステムとのチャンネル関係	23
ワイヤレス同期トリガスタジオフラッシュ	06	互換性のあるカメラリスト	23
2.5 mm 同期インタフェースを使用したフラッシュトリガー	07	仕様とパラメータ	23
電源スイッチ	07	工場出荷時の設定に戻す	25
省電力モード設定	08	ファームウェアのアップデート	25
AF フォーカス補助ランプスイッチ	08	注意事項	25
チャンネル設定	08	フラッシュトリガーの保守	26
ワイヤレス ID 設定	09		
スキャンアイドルチャンネル設定	09		
モード設定	10		
ロック機能	11		
拡大機能	11		
段階値の設定 (パワー設定)	12		
露出補正装置	13		
ストロボパラメータ設定 (出力値、頻度、周波数設定)	13		

前書き

GODOX XPROII O ワイヤレスフラッシュトリガーをご購入いただき、ありがとうございます。

このフラッシュトリガーは、オリンパス、松下製カメラの制御に用いる GODOX フラッシュトリガーであり、GODOX ワイヤレス X システムを利用できるセットアップフラッシュ、屋外フラッシュ、スタジオフラッシュの操作に用います。マルチチャンネル制御で信号が安定であり、反応鋭敏で、カメラマンの柔軟なランプ配置に便利であり、撮影の様々なニーズを満たすことができます。このトリガーは、Olympus&Panasonic シリーズのホットシュー付きカメラに適しており、PC ポートを持つカメラに接続して使用することができます。TTL フラッシュと高速フラッシュ同期に対応でき、最大フラッシュ同期速度は 1/8000 s です。

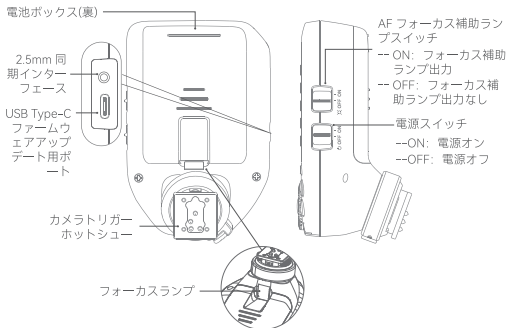
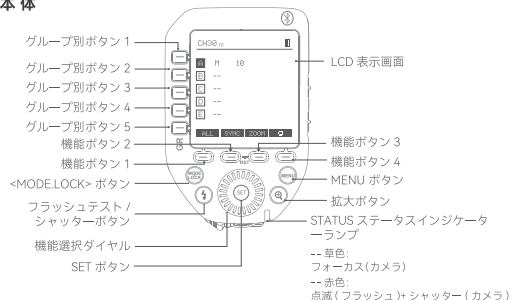
*: 制限条件: カメラの最大シャッター速度は 1/8000s

警告

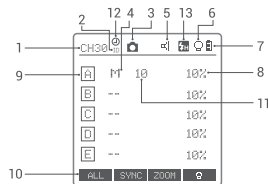
- ⚠ この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
- ⚠ この製品を乾いた状態に保ってください。濡れた手でこの製品に触れたり、この製品を水に浸したり、雨にさらしたりしないでください。
- ⚠ お子様为本製品に触れないようにしてください。
- ⚠ 可燃性や爆発性の雰囲気では使用しないでください。このような場合は、関連する警告サインに注意してください。
- ⚠ 50°C を超えた高温環境には置かないでください。故障が発生した場合は、直ちにトリガーの電源を切ってください。
- ⚠ バッテリー使用上のご注意:
 - この取扱説明書に記載している電池しか使用できません。新旧の電池や異なるタイプの電池を混用しないでください。メーカーからの警告や指示をよくお読みになり、遵守してください。電池を短絡させたり、取り外したりしないでください。バッテリーを火中に投入したり加熱したりしないでください。逆方向で電池を取り付けてはいけません。バッテリー残量が低いとき、液漏れが発生しやすいです。製品の損傷を避けるために、本製品を長時間で使用しないか、電池残量が低いときに電池を取り出してください。損傷した電池の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。

部品

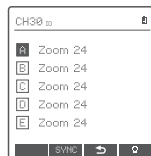
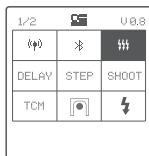
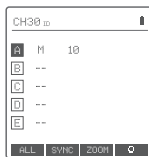
本体



LCD表示画面

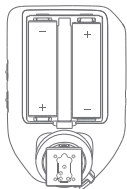


1. チャンネル (合計 32 チャンネル)
2. ID 識別番号 (合計 99ID 番号)
3. カメラに接続
4. グループモード
5. プザー設定
6. 造形ランプ設定
7. 電池残量表示
8. グループ別造形ランプ
9. グループ別
10. 機能ボタン対応のアイコン
11. 出力パワーグレード
13. 高速同期遅延
13. アイコン表示 <7> は高速同期



電池装入

フラッシュトリガー裏の電池カバーを摺動して開き、電池ボックス内のプラスとマイナスの指示に従って、それぞれ AA 電池 2 本を挿入します(別途購入必要)。



電池残量表示

使用するときには LCD 画面の電池アイコンを見て、いつでも電池残量を確認できます。

LCD 画面の電池残量記号表示	説明
3本 [🔋]	電池残量が多い
2本 [🔋]	電池残量がやや多い
1本 [🔋]	電池残量が低い
フレーム [🔋]	電池残量が少なくなり、すぐに電池を交換してください。
点滅	<2.5V 電池残量がすぐになくなります(電池を交換してください。そうしないと、速く離れた場合は点滅が漏れたり、点滅しない場合があります)

この電池残量は AA アルカリ電池のみに対して示します。ニッケル水素電池の電圧が低いので、この表を参照しないでください。

ワイヤレス同期トリガーセットトップフラッシュ

使用方法: V1シリーズのセットトップフラッシュを例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入ル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。



3. セットトップフラッシュ V1 電源を入れ、ワイヤレスボタンを短押しして、画面にワイヤレスアイコン (<📶>) とスレーブユニット <RX> を表示させ、<MENU> ボタンを短押ししてカスタムメニューに入り、<CH> チャンネル設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<Gr> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。(注: その他の機種種のセットトップフラッシュの設定については、対応するセットトップフラッシュの取扱説明書に従ってください)
4. カメラのシャッターを押すと点滅し、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します

ワイヤレス同期トリガ屋外フラッシュ

使用方法: AD600Proを例にとる

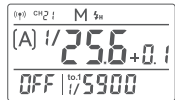
1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。
3. 屋外フラッシュ電源を入れ、ワイヤレスボタンを短押しして、画面にワイヤレスアイコン (<📶>) を表示させ、<GR/CH> グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH> グループ別設定ボタンを短押ししてフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。
(注: その他の機種種の屋外フラッシュの設定については、対応する屋外フラッシュの取扱説明書に従ってください)
4. カメラのシャッターを押すと点滅し、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。



ワイヤレス同期トリガスタジオフラッシュ

使用方法: QTIIIを例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを



設定します。<MODE.LOCK>ボタンを短く押ししてフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階/パラメータを設定します。

- スタジオフラッシュ電源を投入し、MODE/ワイヤレスボタンを短押しして、画面にワイヤレスアイコンを表示させ、この時 2.4 GHz ワイヤレス状態に入ったことを示します。<GR/CH>グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押ししてフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH>グループ別設定ボタンを短押ししてフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。

(注: その他の機種別のスタジオフラッシュの設定については、対応するスタジオフラッシュの取扱説明書に従ってください)

- カメラのシャッターを押すと点滅し、同時にスタジオフラッシュとトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

注: スタジオフラッシュの最小出力値は 1/32。フラッシュトリガーの出力値を設定する際に $\geq 1/32$ の値を設定する必要があります。スタジオフラッシュには TTL とストロボ機能がないので、フラッシュトリガーを設定する時に M モードを選択しないとスタジオフラッシュをトリガーできません。

2.5 mm同期インタフェースを使用したフラッシュトリガー

使用方法

- カメラフラッシュをオフにし、「同期ケーブル」で接続し、その一端はフラッシュに挿入し、もう一端は受信機 X1R-O「シャッターポート」に挿入し、フラッシュと受信機の電源を入れます。
- フラッシュトリガーの設定: <MENU>ボタンを短く押ししてカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK>ボタンを短く押ししてフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階/パラメータを設定します。
- 受信機の設定: <CH>チャンネル設定ボタンを押ししてフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr>グループ別の設定ボタンを押ししてフラッシュトリガーと同じグループに設定します。
- シャッターを押し、同期インタフェース信号を用いてフラッシュを制御します。

注: 受信機 X1R-O は別途購入する必要があります。

電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にして電源を入れ、「OFF」にして電源を切ることができます。

注意: 長時間で使用しない場合は、電力の消費を回避するために電源を切ってください!

省電力モード設定

- フラッシュトリガーは設定時間(60 秒 /30 分 /60 分)を超えて操作していない場合、システムが自動的に待機モードに入り、LCD 表示が消えます。
注: スリープモードはMENUメニューで調整できます。
- 任意のボタンを押すことでスリープ状態のシステムをウィックアップできます。
注: 省電力モードに入りたくない場合は、(MENU) ボタンを短押ししてカスタムメニューに入り、スリープモードをOFFに設定してください。

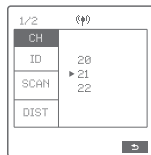
AFフォーカス補助ランプスイッチ

AF 補助フォーカスランプスイッチを「ON」にして、AF フォーカス光線を出力できます。カメラがピント合わせをすることができない場合は、フォーカスランプが自動的に点灯します。カメラが正しくピント合わせをしている場合は、フォーカスランプが自動的に消灯します。

チャンネル設定

- <MENU> ボタンを短く押ししてカスタム機能メニューに入ります。
- ダイヤルを<1/2>に回し、<SET> ボタンを短く押ししてワイヤレス設定に入り、次にダイヤルを<CH>チャンネルに回し、その後<SET> ボタンを短く押しして<CH>チャンネル設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して 1~32 チャンネルを選択することができます。選択したら、<SET> ボタンを短く押しして<CH>チャンネルの設定を終了します。

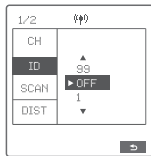
注: 使用する前に必ずフラッシュトリガーと受信機を同じチャンネルに設定してください。



ワイヤレスID設定

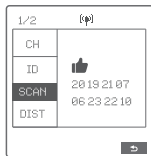
ワイヤレス伝送チャンネルを変更することで撮影干渉を回避するほか、ワイヤレス ID 番号を変更することで撮影干渉を回避することもできます。マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレス ID、チャンネルは一致していなければなりません。

1. <MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入ります。機能選択ダイヤルを < (P) > に回し、<SET> ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、次にダイヤルを <ID> に回し、その後 <SET> ボタンを短く押して ID 設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して OFF/1-99 を選択することができます。選択したら、<SET> ボタンを短く押して <ID> 設定を終了します。



スキャンアイドルチャンネル設定

他の人が自分と同じチャンネルを使うことを避け、撮影の干渉防止性能を高めるために、空きチャンネルスキャン機能を使うことができます。MENU ボタンを短く押してメニューに入り、ダイヤルを回して < (P) > を選択し、SET ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、ダイヤルを回して SCAN オプションを選択します。SET ボタンを短く押して SCAN 設定画面に入り、ダイヤルを回して START を選択し、SET ボタンを短く押すと、5% から 100% スキャンが表示され、スキャンが完了すると 8 グループの空きチャンネルが表示されます。



モード設定

グループ別ボタンを短く押してグループを選択し、<MODE.LOCK> ボタンを短く押すると、選択したグループ別モードが変化します。

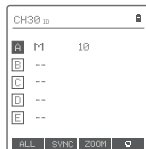
メニューの < (P) > -GROUPS (グループ別) が 5(A-E)(5グループ別) に設定されて、< (P) > ストロボが (ON) になっている場合:

1. マルチグループモード表示の場合に <MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、マルチグループ表示モードが MULTI モード (ストロボ) モードに切り替わることができます。グループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択し、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してそのグループの MULTI モードを「ON」または「OFF」にします。グループ別ボタンを押して選択を解除した後、再度 <MODE.LOCK> ボタンを押すと MULTI (ストロボ) モードを終了できます。



2. マルチグループモード表示の場合にグループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択した後、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してモードを切り替えることができます。グループ A、B、C、D、E は TTL/M/-- に切り替えることができます。

注: TTLは自動フラッシュ、Mは手動フラッシュ、--はモードオフです。



3. シングルグループモード表示の場合に <MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、現在のグループモードを切り替えることができます。A、B、C、D、E は TTL/M/-- に切り替えることができます。

注: TTLは自動フラッシュ、Mは手動フラッシュ、OFFはモードオフです。



メニューの<Ⓜ>ワイヤレス-GROUPS (グループ別)が16(0-F)(16グループ別)に設定されている場合:

1. マルチグループモード表示とシングルグループモード表示は、M 手動モードのみがあります。

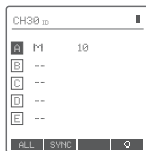
注: メニューのワイヤレス-GROUPS (グループ別)が16 (0-F) (16グループ別)に設定されている場合、マルチグループ表示またはシングルグループ表示にかかわらず、Zoom値を設定することはできません。

ロック機能

<MODE.LOCK> ボタンを2秒間長押しすると、画面の下に「LOCKED」が表示され、現在の画面がロックされていることを示し、この時は何のパラメータも設定できません、もう一度<MODE.LOCK>ボタンを2秒間長押しするとロックを解除できます。

拡大機能

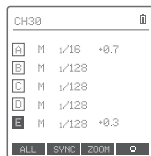
マルチグループ表示からシングルグループ表示への切り替え: マルチグループモードでグループ別ボタンを短く押ししてグループ別を選択し、<Ⓜ>ボタンを短く押しして、グループ別をシングルグループ表示モードに拡大し、<Ⓜ>ボタンを短押しするとマルチグループ表示モードに戻ることができます。



段階値の設定(パワー設定)

マルチグループ表示でMモードの場合

1. グループ別ボタンを短く押ししてグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値が Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 または 1/3 で増加されます。最後に<SET> ボタンを押して、このグループの電力出力値を確定します。
2. 機能ボタン 1 (ALL ボタン) を短押しするとすべての電力出力値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値は Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 段または 1/3 で増加され、最後に機能ボタン 1 (ALL ボタン) を短押ししてすべての電力出力値を確定します。



シングルグループ表示でMモードの場合

1. 直接機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値は Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 または 1/3 で増加されます。
注: Mモードは手動フラッシュモードです。

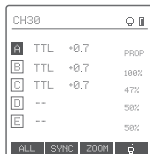


注: Min.は、MまたはMultiモードで設定できる最小出力値です。Min.の値は、MENU-STEPで設定された値によって異なります。最小出力値段階 (STEP) は全部で9種類あり、それぞれ1/128 0.3、1/256 0.3、1/512 0.3、1/128 0.1、1/256 0.1、1/512 0.1、3.0 (0.1)、2.0 (0.1)、1.0 (0.1) です。ほとんどのセットトップフラッシュでサポートされている最小出力は1/128または1/128 (0.1) であり、1/256または1/256 (0.1) に設定することはできません。GODOX社のAD 600 Proなどの大出力スタジフラッシュに合わせて、最小出力を1/256または1/256 (0.1) に調整することができます。

露出補正装置

マルチグループ表示でMモードの場合

1. グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値が -3~3 の間で 0.3 ずつ増加し、<SET> ボタンを短く押してこのグループの FEC 値を確認します。
2. 機能ボタン 1(ALL ボタン)を短押しするとすべての FEC 値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値は -3~3 の間で 0.3 ずつ増加し、もう一度機能ボタン 1(ALL ボタン)を短く押してすべての FEC 値を確認します。



シングルグループ表示でTTLモードの場合

1. 直接機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値は -3~3 の間で 0.3 ずつ増加されます。
注: TTLモードは自動フラッシュモードであり、FEC値は露出補正值です。



ストロボパラメータ設定 (出力値、頻度、周波数設定)

ストロボパラメータの設定条件: メニュー<(P)>->GROPSは5(A-E)を選択し、メニューストロボはON(オン)にする必要があります。

マルチグループ表示の場合、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してストロボパラメータ値設定画面に入ります。

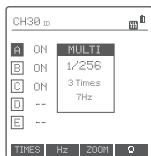
1. ストロボ(MULTI)モードでは(TTLもMアイコンも表示されません)。
2. 3行の表示内容は、それぞれ電力出力値(Min.~1/4 または Min.~8.0)、Times(フラッシュ回数)、Hz(フラッシュ周波数)です。
3. ダイヤルを回し、その電力出力値は Min.~1/4 または Min.~8.0 の間で全段階で変化します。
4. 機能ボタン 1(TIMES ボタン)を短く押し、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ回数(1-100)を調整します。
5. 機能ボタン 2(HZ ボタン)を短押しし、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ周波数

(1-199)を調整します。

6. 任意の項目または3項目の設定値を設定したら、<MODE.LOCK> ボタンを押して、ストロボパラメータ値設定画面を終了します。

*注: フラッシュ回数はフラッシュ出力値と周波数に制約され、設定されたフラッシュ回数はシステム許容の上限値を超えてはなりません。受信機に送信された回数は、カメラのシャッター設定に関連した実際のフラッシュ回数です。

注: Min. は、M または Multi モードで設定できる最小出力値です。Min. の値は、MENU-STEP で設定された値によって異なります。最小出力段階 (STEP) は全部で9種類あり、それぞれ 1/128 0.3、1/256 0.3、1/512 0.3、1/128 0.1、1/256 0.1、1/512 0.1、3.0(0.1)、2.0(0.1)、1.0(0.1)です。

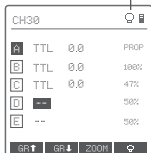


造形ランプ設定

1. マルチグループ表示の場合に、機能ボタン 4 を短く押して、マルチグループの造形ランプをオン / オフにすることができます。
2. マルチグループが表示し、造形ランプのマスターがオンになっている場合、グループ別ボタンを短く押してグループを選択します。機能ボタン 4 を短く押して、このグループの造形ランプの状態を切り替えることができます。オフ(-)、百分率(10%-100%)またはPROP(フラッシュの明るさに応じて変わる自動モード)の3つの状態があります。造形ランプが百分率の数値状態の場合、機能ボタン 4 を長押しして造形ランプ輝度値設定画面に入り、出力値選択ダイヤルを回して必要な百分率の数値を選択できます。シングル表示場合の操作も上記マルチグループ表示の場合と同じです。

ここで造形ランプのアイコンが表示される場合は、造形ランプのマスター制御ユニットがオンになっていることを示します。




注: 現在、シングルグループ造形ランプスイッチを使用できる映像フラッシュの型番は以下の通りです: GSII, SKII, SKiIV, QSiII, QDiI, DEII, DPiIシリーズ, DPiIIシリーズ、その他、屋外フラッシュAD200、AD600シリーズがアップデートされた後にこの機能を使用することができます。今後、新しく発売する造形ランプを含むフラッシュはすべてこの機能を使うことができます。




ZOOM値設定

機能ボタン 3 を短く押して表示画面に ZOOM 値が表示され、グループ別ボタンを短く押して変更するグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して ZOOM 値は AUTO/24-200 で変化し、設定する ZOOM 値を選択し、最後に機能ボタン 3 を短く押して主画面に戻ります。

シャッター同期設定

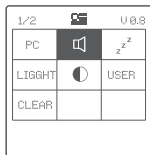
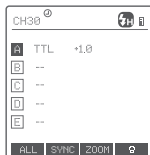
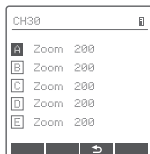
1. 高速同期: <SYNC> ボタンを押して画面に  を表示させます。OLYMPUS カメラで OK 又は松下カメラで MENU を押してフラッシュモードに入り、強制フラッシュを選択し、カメラに  が現れてからカメラシャッターを設定します。
2. リアカーテン同期: OLYMPUS カメラで OK 又は松下カメラで MENU を押してフラッシュリアカーテン設定モードに入り、カメラにモード  が現れてからカメラシャッターを設定します。

ブザー設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを  に回し、さらに <SET> ボタンを押してブザー画面に入り、選択ダイヤルを回して、<ON> オンにするか <OFF> オフにするかを選択することができます。最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

<ON> を選択するとブザーが起動します。

<OFF> を選択するとブザーがオフになります。

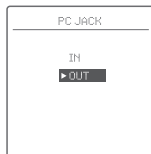


PCポート設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <PC> に回し、さらに <SET> ボタンを短く押して PC ジャック設定に入り、機能選択ダイヤルを回して IN または OUT を選択し、最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

<IN> を選択すると、カメラが送信機をトリガします。

<OUT> を選択すると、送信機がフラッシュをトリガします。



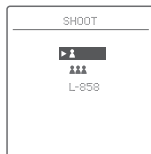
SHOOT機能設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <SHOOT> に回し、更に <SET> ボタンを短く押して SHOOT 機能設定に入り、機能選択ダイヤルを回して 1 人撮影 / グループ撮影 / L-858 を選び、最後に <MENU> ボタンを短く押して主画面に戻ります。

1 人撮影: カメラで撮影するときには単写を選択し、M と Multi モードでは、マスター制御ユニットはスレープ制御ユニットにのみフラッシュ信号を送信します。これは一人での撮影に適しており、省電力に優れます。

グループ撮影: カメラで撮影するときにはグループ撮影を選択すると、マスター制御ユニットはパラメータとフラッシュ信号をスレープ制御ユニットに送信します。これはグループ撮影に適し、電力の消費が速いです。

L-858: L-858 ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。



Bluetooth設定

BluetoothMAC コードの表示: MENU ボタンを短押ししてメニューカスタム画面に入り、SET ダイアルを回して(⌘)を選択し、次に SET ボタンを短押しして Bluetooth 設定画面に入り、Bluetooth MAC コードは右下隅に表示されます。

Bluetooth リセット: MENU ボタンを短く押してメニューカスタム画面に入り、SET ダイアルを回して(⌘)を選択し、次に SET ボタンを短押しして Bluetooth 設定画面に入り、機能選択ダイアルを回して「RESET」を選択し、SET ボタンを短く押しして選択画面に入り、機能ダイアルを回して「RESET」を選択し、最後に SET ボタンを短く押しして Bluetooth リセットを行い、リセット完了後に自動的に前の設定画面に戻ります。



APPダウンロード

QR コードをスキャンして「Godox Flash」モバイルアプリをダウンロードできます。
(Android と apple システムの両方も利用できます)



詳細については、アプリ内の「使用方法」をクリックし、ここで詳しく教えてあげます。

注: 最初のモバイルデバイス (携帯電話やタブレット) はアプリを直接使用してライトを制御でき、他のモバイルデバイス (携帯電話やタブレット) を交換する場合、アプリ接続を正常に使用するには、ライト本体のBluetoothリセットを行う必要があります。

Bluetoothの初期パスワードは、000000です。

MENU: カスタムメニュー

以下のアプリケーション欄を参照して、カスタム機能を使用して設定してください。

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
(P)	ワイヤレス	CH	32グループ: 1-32
		ID	OFF: オフ 1-99: 01-99から選択できます
		SCAN	OFF: オフ START: 空きのチャンネルのスキップを開始します
		DIST	1-100m: 1-100mフラッシュ 0-30m: 0-30mフラッシュ
		GROUPS	5(A-E): 5グループ別 16(0-F): 16グループ別
⌘	Bluetooth	BLUE,T	OFF: Bluetoothオフ ON: Bluetoothオン
		RESET	CANCEL: 操作をキャンセルします RESET: Bluetoothをリセットします

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
	頻繁に点滅	ON	フラッシュをオンにします
		OFF	フラッシュをオフにします
DELAY	高速同期遅延	OFF	高速同期遅延をオフにします
		0.1ms-9.9ms	0.1ms-9.9ms: 高速同期遅延範囲
STEP	階段(出力)	1/128 0.3	最小出力階段1/128(各階段は1/3で増加されます)
		1/256 0.3	最小出力階段1/256(各階段は1/3で増加されます)
		1/512 0.3	最小出力階段1/512(各階段は1/3で増加されます)
		1/128 0.1	最小出力階段1/128(各階段は0.1で増加されます)
		1/256 0.1	最小出力階段1/256(各階段は0.1で増加されます)
		1/512 0.1	最小出力階段1/512(各階段は0.1で増加されます)
		3.0 (0.1)	最小出力階段3.0(各階段は0.1で増加されます)
		2.0 (0.1)	最小出力階段2.0(各階段は0.1で増加されます)
		1.0 (0.1)	最小出力階段1.0(各階段は0.1で増加されます)

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明	
SHOOT		1人撮影	カメラで撮影する時にM&Multiモードでフラッシュ信号のみを送信します	
		グループ撮影	カメラで撮影する時にパラメータとフラッシュ信号(複数人での撮影に適す)を送信します	
	L-858の使用	L-858	L-858ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。	
TCM	TCM 変換機能	OFF	TCM変換機能をオフにします	
			TT685II/V860III シリーズ	TTLフラッシュ値をM(手動フラッシュ)電力値に変換し、混用時はメインランプ型番を基準とし、TCM変換機能をオンにした後、<MODE.LOCK>ボタンを短押しするとTCM変換を行うことができます
		100j	AD100PRO	
		200j	AD200	
		300j	AD300Pro	
		360j400j	AD400Pro	
		600j	AD600,AD600Pro	
		1200j	AD1200Pro	
			伝統的な ホットシュー	
ON	伝統的なホットシューをオンにし、TTLフラッシュを使用できず、高速同期フラッシュ機能がないです			

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
	フラッシュ テストボタン	TRIGGER	トリガーフラッシュテスト
		SHUTTER	シャッターフラッシュテスト
PC	PCポート	IN	入力側、カメラが送信機をトリガします。
		OUT	出量側、送信機がフラッシュをトリガします。
	ブザー	OFF	ブザーをオフにします
		ON	ブザーをオンにします
	スリープ	60 sec	60秒操作しないと、スリープモードに入ります
		30 min	30分操作しないと、スリープモードに入ります
		60 min	60分操作しないと、スリープモードに入ります
		OFF	スリープ機能をオフにします
LIGHT	バックライト	12sec	12秒操作しないと、LCDとボタンのバックライトが自動的に消灯します
		OFF	LCDとボタンのバックライトをオフにします
		ON	LCDとボタンのバックライトを常時オンにします
	LCDコントラスト	-3~+3	コントラスト値の範囲: -3~+3の整数

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
USER	事前設定 の使用	SAVE	保存グループ: 1-5
		LOAD	グループ: 1-5
CLEAR	データ 削除機能	CANCEL	キャンセル
		CLEAR	メニューデータの削除

注: < > の対応する機能がタン4を短押しして前の設定に戻ることができます。

互換性のあるフラッシュ型番

送信機	受信機	フラッシュ型番	備考
XPROII O	---	AD300Pro, AD100Pro, AD600B, AD200, AD200pro, V850IIシリーズ, V850IIIシリーズ, V1シリーズ, V860IIIシリーズ, V860IIシリーズ, TT685IIシリーズ, TT685シリーズ, TT585シリーズ, TT600シリーズ, V350-O, QTIIIシリーズ, SK300IIIV, SK400IIIV, MS300V, MS200V, DPIIIシリーズ, DPIIIシリーズ	
	XTR-16	AD360/AR400 両客一代シリーズ/SK一代シリーズ/DP一代シリーズ/GT/GS一代シリーズ/小精靈	GODOXワイヤレスUSBポートが付いているフラッシュ フラッシュ機能のみ
	XTR-16S	V860 V850	

注: 対応できる機能範囲: XProII Oとフラッシュ両方が備えている機能。

XTワイヤレスシステムとX1ワイヤレスシステムとのチャンネル関係

XT-16 コードスイッチ								
X1 ディスプレイ	CH01	CH02	CH03	CH04	CH05	CH06	CH07	CH08
XT-16 コードスイッチ								
X1 ディスプレイ	CH09	CH10	CH11	CH12	CH13	CH14	CH15	CH16

互換性のあるカメラリスト

本機は以下のカメラモデルと互換性があります

Olympus: PEN-F, E-P3, E-P5, E-PL5, E-PL6, E-PL7, E-PL8, E-M1,
E-M10II, E-M10III

Panasonic: DMC-G85, DMC-GH4, DMC-GF1, DMC-GX85, DMC-LX100,
DMC-FX2500GK

- この表は、現在試験されているカメラモデルのみを記載しており、Olympus、Panasonic のすべてのモデルは含まれていません。他のカメラモデルは、ユーザーが自分で試験することができます。
- 当社は、この表の内容を将来変更する権利を留保します。

仕様とパラメータ

型番	XPROIIO
互換性のあるカメラ	Olympus/Panasonicカメラに対応 (TTL自動フラッシュ) PC出力ポート付きのすべてのカメラ
電源供給	2*AA電池

露出制御	
TTL自動フラッシュ	備える
手動フラッシュ	備える
ストロボフラッシュ	備える
機能	
高速同期	あり
リアカーテン同期	あり
露出補正	±3EV (露出値) / 1/3 EVで増加する
露出ロック	備える
補助フォーカス	備える
造形フラッシュ	トリガーを介してフラッシュの造形ランプを制御できます
ブザー	トリガーを介してフラッシュのブザーを制御できます
ワイヤレスシャッター	受信機は2.5mm同期インターフェースを介してカメラの撮影を制御できます
ZOOM設定	送信機によってフラッシュの焦点距離値を調整でき、自動AUTO/焦点距離24-200を選択できます
TCM	TTL撮影値をM出力値に変換させます
ファームウェアのアップデート	本体のUSB Type-Cポートを介してファームウェアのアップデートを行います
記憶機能	2秒設定後のパラメータを自動的に記憶し、再起動すると自動的に回復します
ディスプレイ	バックライトのオン/オフを切り替えるワイドスクリーン液晶表示
ワイヤレスフラッシュ	
伝送距離(約)	0-100メートル
ワイヤレス内蔵	2.4GHz
変調モード	MSK
チャンネル	32つ
ワイヤレスID	OFF, 01~99
グループ別	5グループまたは16グループ(メニューから選択できる)
仕様	
寸法	95mm*62mm*49mm
正味重量	93g

工場出荷時の設定に戻す

同時に中央の2つの機能ボタンを2秒間長押しし、画面にRESETが表示され、下にCANCELとOKの2つのオプションがあり、SETダイヤルを回してOKを選択し、SETボタンを短く押して、自動で主画面に戻り、工場出荷時の設定に復帰したことを示します。

ファームウェアのアップデート

この機器はUSBポートを通じてファームウェアのアップデートを行うことができます。ソフトウェアの最新の公告と説明は公式サイトに発表されます。

注：本製品は出荷時にUSBアップデートケーブルが付属していないので、別途購入してください。本製品のUSBポートはUSB Type-Cであり、USB Type-Cケーブルを使用してください。ファームウェアのアップデートには、Godox G3プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップデートする前に「Godox G3ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、対応するファームウェアファイルを選択してください。製品のファームウェアがアップデートされたので、説明書の最新電子版をご参照ください。

注意事項

1. 正しくフラッシュできず、または撮影できない場合は、電池が正しく装入しているかどうか、およびフラッシュトリガーの電源を入れているかどうか、フラッシュトリガーが同じチャンネルに設定されているかどうか、接続ケーブルまたはホットシューが正しくしっかりと接続されているかどうか、機能モードが正しく設定されているかを確認してください。
2. カメラが撮影しかできず、フォーカスができない場合、本体またはレンズがMFマニュアルフォーカスに設定されているかどうかを確認し、AFオートフォーカスに設定してください。
3. お使いのフラッシュトリガーが他人のものに干渉されてフラッシュしたり、撮影されたりする場合は、フラッシュトリガーのチャンネル設定を変更してください。

GODOX2.4Gワイヤレスフラッシュ漏れの原因および解決策:

1. 外部環境 2.4 G 信号干渉(無線基地局、2.4 G Wifi ルーター、Bluetooth デバイスなど) フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し(+10 推奨)、干渉のないチャンネルを使用するか、使用中に他の 2.4 G デバイスをオフにしてください。
2. フラッシュのコンデンサ充電済又は充電速度が連写速度(フラッシュ準備完了インジケータランプが点灯)に追従しており、過熱保護またはその他の異常状態にないことを確認してください。
フラッシュの段階値を下げてください。TTLモードの場合はMモードに変更してみてください(TTLモードではプリフラッシュが必要です)。
3. フラッシュトリガーとフラッシュとの距離が近すぎますか(距離 <0.5 m) フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレスモード」をオンにし、MENU- (P) —DIST を 0-30m に設定してください。
4. フラッシュトリガーおよび受信機の電力が低いですか
電池を交換してください(フラッシュトリガーの電池として、1.5 V の使い捨てアルカリ電池を推奨)

フラッシュトリガーの保守

落下防止：強い衝突や振動は、フラッシュトリガーの故障の原因となります。
乾燥状態を保持：本製品は防水製品ではありません。水に浸したり、高湿度の環境に置くと故障する可能性があります。内部構造が錆びると修理できない場合があります。
寒い日に暖かいビルに出入りするなどの温度の急変を避けてください。フラッシュトリガーの内部が結露する可能性があります。結露を避けるために、フラッシュトリガーを手提げ袋やビニール袋に入れておくと、温度の急変を防ぐことができます。
強い磁場から離れる：無線放送送信機などの機器で発生する強い静電気または強い磁場は、本製品の正常な動作を妨げる可能性があります。